

科目名	期別	単位数	開講年次	担当教員名
(新)(旧)社会保障法	前期	2単位	(標) 2年 (既) 1年	阿部 和光

授業目的	<p>社会保障法の構造と解釈・運用の実際を理解するとともに、その批判的考察力の養成を目的とする。社会保障法は福祉国家の性格を決定する法であり、現代社会の人々の生活保障のために不可欠な法領域である。その法原理は、市民法の反省形態であり、市民法とは性格を異にする。それゆえ、社会保障をめぐる紛争は、社会保障法の法的性格に即した解決が必要である。社会保障は国民生活を支えるシステムであるので、「町医者としての法曹」には不可欠の知識である。</p>		
達成目標	<p>社会保障の現行法制の仕組みを理解する。具体的には次の能力を涵養する。①社会保障の権利と体系、所得保障法、医療保障法、福祉サービス法の制度と役割、社会保険の保険原理と扶養原理、公的扶助の基本原理と機能、基本的な社会保障判例を理解し説明できる。②社会保障の紛争事案を、社会保障の法律論を踏まえて適切に解決することができる。</p>		
授業計画と予習事項	回数	各回タイトル	授業内容、予習基本事項
	1	社会保障とは何か (第1章の前半)	<p>授業内容：社会保障法の概念・歴史・保障方法 社会保障とは何か、その歴史的背景と社会保障の保障方法を理解する。 予習基本事項：テキスト第1章、p. 1-p. 28</p>
	2	社会保障の保障水準・行政の仕組みと国際化 (第1章の後半)	<p>授業内容：社会保障の保障水準、費用負担、国際化（外国人と社会保障） 社会保障の給付水準と費用負担のあり方、外国人の社会保障権のあり方について理解する。 予習基本事項：テキスト第1章、p. 28-p. 42</p>
	3	社会保障の権利 (第2章の前半)	<p>授業内容：生存権、憲法と社会保障の権利、社会保障受給権、手続き的保障など。社会保障の権利の性質、特に生存権に関する判例（朝日訴訟・堀木訴訟）の理解は社会保障にとっても重要。 予習基本事項：テキスト第2章、p. 43-p. 56</p>
	4	社会保障の法理論と課題 (第2章の後半)	<p>授業内容：社会保障の体系論、社会保障の法主体論、構造改革、社会保障の方法論など。社会保障法学が社会保障の基礎理論としてどのような考え方を展開しているのかを理解する。 予習基本事項：テキスト第2章、p. 57-p. 75、</p>
	5	年金保険法（Ⅰ） (第3章の前半)	<p>授業内容：公的年金の意義と構造、被保険者と保険者、年金給付の種類（老齢年金、障害年金、遺族年金など）と年金の調整 公的年金が社会保険方式で保障されていること、現行制度がどのようなものか理解する。 予習基本事項：テキスト第3章、p. 76-p. 103</p>
	6	年金保険法（Ⅱ） (第3章の後半)	<p>授業内容：公的年金の費用と財政、任期加入の保険、公的年金の課題 年金の給付とそれを支える財政システムがどのようなものか、公的年金制度の問題点と課題について理解する。 予習基本事項：テキスト第3章、p. 104-p. 120</p>
	7	社会手当 (第4章)	<p>授業内容：社会手当の概念、特徴、種類、受給者の範囲、社会手当請求権の法的性格 所得保障における社会手当の意義、現行の手当の種類や年金や公的扶助との違いを理解する。 予習基本事項：テキスト第4章、p. 121-p. 136</p>
	8	医療保障（Ⅰ） (第5章の前半)	<p>授業内容：医療供給体制（医師等の資格制度、保険医療機関）、被保険者、保険給付、保険診療と自由診療 医療保険の仕組みと給付の種類、自由診療との関係などを理解する。 予習基本事項：テキスト第5章、p. 136-p. 170</p>
9	医療保障（Ⅱ） (第5章の後半)	<p>授業内容：医療保険の財政方式、高齢者医療制度、財政調整、予防医療などその他の医療保障制度、医療保障の課題と展望 医療保険の財政の仕組み、高齢者医療と財政調整、医療保険以外の医療保障制度および今後の医療保障の課題について理解する。 予習基本事項：テキスト第5章p. 171-p. 196</p>	

10	労働保険（Ⅰ） （第6章の前半）	授業内容：労働保険の意義、労災保険と雇用保険、労働保険の適用関係、労働保険の保険料、業務上災害と労災保険給付 労働保険である労災保険と雇用保険の特徴と労災保険の業務上認定と労災保険給付について理解する。 予習基本事項：テキスト第6章、p. 197～p. 225
11	労働保険（Ⅱ） （第6章の後半）	授業内容：労災補償と損害賠償、労災保険給付と損害賠償の調整、雇用保険給付と雇用2事業 労災と損害賠償の性格的な相違と賠償額の調整、および雇用保険の給付の種類と雇用安定等事業の役割および労働保険の課題を理解する。 予習基本事項：テキスト第7章、p. 226～p. 241
12	福祉サービス法（Ⅰ） （第7章の前半）	授業内容：社会福祉の意義、福祉サービス法の仕組み、介護保険法と高齢者福祉 福祉サービス法の全体像と高齢者福祉の中心である介護保険法の仕組みを理解する。 予習基本事項：テキスト7章、p. 242～p. 291
13	福祉サービス法（Ⅱ） （第7章後半）	授業内容：児童・障害者・母子などの福祉法制、権利擁護、福祉サービスの費用負担、福祉サービス法の課題 児童福祉、障害者福祉、母子福祉等の法制度の仕組みを理解し、虐待問題、権利擁護の問題など、福祉の法的な問題を理解する。 予習基本事項：テキスト第7章、p. 292～p. 335
14	公的扶助（Ⅰ） （第8章前半）	授業内容：公的扶助の意義、制度の変遷、生活保護法の基本原理、最低生活費と保護の要否、世帯単位の原則 社会保障法における公的扶助の役割、生活保護法の基本原理を理解する。 予習基本事項：テキスト第8章、p. 336～357
15	公的扶助（Ⅱ） （第8章後半）	生活保護の種類と方法、実施体制、保護実施のプロセス、救済手段、生活保護の課題 最低生活保障のための保護給付の種類および保護の実施がどのような手続きで進行するか、救済のシステムと生活保護の課題にはどのようなものがあるか理解する。 予習はテキスト第8章、p. 358～p. 380
授業方法・予習上の留意点(各回指示以外) 自習事項	講義はQ&Aを交えて行う。適宜裁判例を取り扱う。 予習は加藤他『社会保障法（第4版）』（有斐閣）の該当箇所と事前に指定された社会保障判例を読むこと。	
評価方法と評価基準 (期末試験、レポート、ディベート等)	期末テスト（50%）、中間テスト（30%）、小テスト（20点）受験資格は3分の2以上の出席、欠席は1回につき1点の減点	
テキスト 独自教材	『社会保障法（第4版）』加藤知章・菊池馨実・倉田聡・前田雅子、有斐閣 各回配布レジュメ	
参考書	『社会保障法』西村建一郎、有斐閣 『社会保障判例百選（第4版）』西村健一郎・岩村正彦、有斐閣 『レクチャー社会保障法』河野正輝・江口隆裕、法律文化社 『社会保険改革の法理と将来像』河野正輝・良永彌太郎・阿部和光・石橋敏郎、法律文化社 『社会保障法制の将来像』菊池馨実、有斐閣	